

横浜教育ビジョン

「横浜市基本構想」が示す、平和や人権の尊重を基調とした都市像「市民力と創造力により新しい『横浜らしさ』を生み出す都市」の実現に向けて、社会の一員として国や社会を良くしていこうとする気概や、正しい勤労観、奉仕の心などを持って、自らの人生を切り拓き、作り上げることができる「市民力・創造力」を兼ね備えた未来を担う『市民』の育成を目指します。

《三つの基本》

- 知** **幅広い知識と教養**
学ぶ楽しさと創り出す喜びを通じて自らの可能性と人生を切り拓きます
- 徳** **豊かな情操と道徳心**
礼儀や規律を重んじ、家族を大切に、他者を思いやり、相手の人格を尊重して行動します
- 体** **健やかな体**
自分や他者の生命や体を尊び、自らの健やかな体をつくります

《二つの横浜らしさ》

- 公** **公共心と社会参画意識**
横浜市を愛し、積極的に社会にかかわり、貢献します
- 開** **国際社会に寄与する開かれた心**
日本の伝統や文化を尊重しながら、国際社会の発展に貢献します

本校の人権教育の視点

1. **生命尊重** ～生きていく根本条件として～
自分の命も他の命も、掛け替えのない命として大切にしようとする子供
2. **偏見・差別・人権**
部落差別の実態を科学的に認識する中で偏見・差別を鋭く見抜き、差別解消の意欲を持ち、人間の尊厳を自覚し、人権を守り抜こうとする子供。
3. **協力・連帯・集団**
認め合い、助け合い、励まし合うことを通し、お互いに力を合わせる大切さを自覚し、共に生き共に学ぶ意欲を高め、仲間と共に問題を解決しようとする子供。
4. **労働・生産・生活**
労働に携わっている人々の仕事ぶりや思い・願いを通して、勤労・職業に対する正しい見方・考え方を身に付け、暮らしを支え高めるために働くことを厭わない子供。
5. **戦争・平和・国際協調**戦争の悲惨さと平和の尊さに気づき、平和な世の中の実現のために他の国々と積極的に仲良くしていこうとする子供。
6. **豊かな心** ～同和教育の前提条件として～
同和教育の前提条件として、正しいことや美しいものを愛する、しなやかな感性を備えた子供。

学校教育目標

舞岡のまちとともに認め合い学び合い自ら成長し未来を拓く
 ・自ら学び、課題を解決 (知)
 ・認め合いと人権の尊重 (徳)
 ・心技体の向上 (体)
 ・地域・社会へ自ら参画 (公)
 ・視野を広げ、夢の実現 (開)

学校経営方針

(2)人権尊重
生徒・職員相互の人権を尊重し、思いやりと信頼関係の確立を目指して、人間物理的環境の改善・充実を努める。

指導の重点

生徒一人一人に、自他の人権を尊重し集団の一員としての正しい判断と行動力を身につけさせるため、全職員で根気よい指導に努める。

具体的努力目標

5. 福祉教育の推進とボランティア活動への理解
自他の違いを認め、互いを尊重しあうボランティア精神とその活動を理解し、学校教育における福祉教育の推進と充実を図る。
 (1) 人権尊重の精神を養うため、福祉教育の実践を推進する。
 (2) 国際的視野に立ったボランティア活動への理解を深め、活動実践を推進する。
6. 人権教育の推進
教職員自らが人権意識に目覚め、自他の人権を尊重し、いかなる偏見・差別をも許さない人間の育成を目指し、全教育活動を通じて積極的に人権教育の推進を図る。
 (1) 人権教育推進委員会を設置し、実践計画の作成及び指導の充実を図る。
 (2) 人権問題を重点教材とし、教科及び道徳指導等の具体化を図る。
 (3) 教職員の人権教育研修を深め、意識を高める。
 (4) 人権尊重の教育と国際理解教育の推進を図る。

	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	個別支援学級
学 年 目 標	○人権・福祉に対する関心を深め、実践する態度の向上を図る。 ○互いのちがいの理解を深め、そのちがいの大切さに気づき尊重し合う態度の向上を図る。	○人権・福祉に対する関心を深め、実践する態度の強化と補充に努める。 ○一人一人の違いを認め、相互の個性を尊重する態度を育てる。	○人権・福祉に対する関心を深め、実践できる力を養う。 ○相互の個性や人格を尊重し合う態度を持たせる。	○互いに認め合い助け合う気持ちを養う。
学 級 で の 指 導 の 重 点	○奉仕の心を育てる。 ○お互いに認め合い、助け合う気持ちを養う。 ○互いの個性を尊重し認めるとともに思いやる心を育てる。	○お互いに認め合い思いやりのある生徒の育成を目指す。 ○自他の個性を認め、全員で思い合える学級づくりを目指す。	○互いに認め合い、尊重できる生徒の育成を目指す。 ○一人一人のよさを認め合い、苦しいときに励まし合い、全員で高め合える学級づくりを目指す。	○お互いの個性を認め、思いやる心を育てる。 ○社会自立にむけて、生きる力を育てる。